

学校・PTA共同提案

子供の安全(被害防止)・健全(トラブル防止)のために

先日の道徳授業公開・協議会を受け、学校とPTAで整理し、下記の通りご提案いたします。裏面の資料もご確認ください。

小岩小学校の子供の安全(被害防止)・健全(トラブル防止)のために、学校・PTA・保護者が連携するとともに役割分担をしながら取り組んでいきたいと思ひます。

ご家庭でも約束や指導をよろしくお願ひいたします。

がっこうがい す かた
学校外での過ごし方

じぶん ひがいに
自分が被害にあわないために
じぶん ま こ お
自分がトラブルに巻き込まれない・起こさないために

いえ ひと きょ か
家の人に許可をもらって
あそ ぶ
遊ぼう・出かけよう

SNSルールやゲームなどについて

じぶん ひがいに
自分が被害にあわないために
じぶん ま こ お
自分がトラブルに巻き込まれない・起こさないために

つか
ルールとモラルをもって使おう

- ◇ 許可は学区域を目安に保護者判断
- ◇ 保護者と学校で「判断できる子供に」

- ◇ 保護者と学校で「判断できる子供に」
- ◇ 時には一緒に使って把握

※ルール:こいわっ子タブレットルールなどのきまり(外面)

※モラル:自他への影響を考え(判断)、ルール等を守ろうとする心(内面)

本校の学区域



10月学校だよりより

オンライン道徳授業公開・協議会 “ルールとモラル” “安全と健全”

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。9月25日に土曜授業として道徳授業地区公開講座（授業公開・協議会のオンライン試行）を行いました。ご多用のところ、オンラインにて視聴いただき、ありがとうございます。また、PTA本部役員の皆様には協議会にご参加いただき、重ねて感謝申し上げます。授業公開は各学級8～9割、協議会は137家庭のオンライン視聴がありました。オンライン視聴にあたっての不具合等は寄せられたご意見を踏まえ改善するとともに、設備などは区教委に要望していきます。

1～3時間目 道徳授業公開「子供の内面から育てる」

授業公開では、善悪の判断や規則の尊重、自律などをテーマに学習を行いました。各学年・学級共通に大事にしたことは「自ら考え判断できるようにすること」です。そのため、「ルールは守らなければなりません」というように「教え込む」のではなく、「なぜルールや規則があるのか」「善いこと・悪いこととはどういうことか」など、子供が自ら“考えること”を重視しました。「自ら考え判断できるようにする」ためにはルールの大切さを指導するとともに、その必要性や尊重する姿勢を子供の内面から育てる（モラル教育）ことが学校でも家庭でも重要です。一朝一夕では成し得ませんが積み重ねていきたいと思っております。

4時間目 協議会「子供の安全・健全のために 共有・協議」

協議会では、「学区域」と「SNSルール等」について協議しました。オンライン視聴の際に聞き取りづらいとの声もいただきましたので、当日の様子をお知らせします。

「学区域」の協議では、「子供が被害にあわないこと（安全）」「子供が加害者にならないこと」を含めてトラブルに巻き込まれないこと（健全）や、全国的に被害者が加害児童の保護者を訴える事例があること（学校外の管理責任は保護者との考えからのようです）などについて確認した後、担当教員より「本校の学区域と児童の様子」「トラブル事例」などの基調報告を行いました。次に小グループ（低学年・中学年・高学年）に分かれて教員とPTA本部の皆様で協議しました。全体報告では各小グループから「近くに公園（遊び場）がない」「学区域がない（行動範囲にしないと）他校とトラブルになりやすい」「学区域が行動範囲だと把握しやすい」「子供が考えて行動することが大事」「子供の判断だけでなく、保護者が許可をする」などの意見が報告されました。

全体協議では小グループの協議を踏まえて、子供の安全（被害防止）・健全（トラブル防止）のために「家の人に許可をもらって遊ぼう・出かけよう」を学校・保護者の共通フレーズにしてはどうかとまとめました。また、学区域外から登校している児童がいることや、学区域を一定の活動範囲としない場合、際限なく遠くまで出かけてしまう懸念があることなどから「許可は学区域を目安に保護者判断」と共通理解を図りました。また、保護者と学校で「判断できる子供に」という点も共通理解を図りました。

「SNSルール等」の協議では、担当教員より「SNSやゲームの実態とトラブル事例」「対策のポイント」などの基調報告を行いました。時間の関係で全体協議のみを行い、1～3時間目の道徳授業の意図（内面から育てる）にも触れながら子供の安全（被害防止）・健全（トラブル防止）のために「ルールとモラルをもって使おう」を学校・保護者の共通フレーズにしてはどうかとまとめました。また、ネットの世界はなかなか把握できないことから、時には「一緒に使って把握すること」も有効であることを紹介しました。更に「学区域」と同様に保護者と学校で「判断できる子供に」という点も共通理解を図りました。

子供の安全・健全のために「学校と保護者・PTAの連携と役割分担」

子供の安全（被害防止）・健全（トラブル防止）のために、学校と保護者・PTAが連携したり役割分担したりして子供に関わっていくことが重要です。学校も「校外生活の指導」の一層の充実を図っていきます。ご家庭でもお子さんへの指導・関わりの一層の充実をよろしく願いいたします。

なお、協議会での話し合いを学校とPTAで更に整理して、改めてご提案します。※整理内容が表面の内容です。



道徳授業の様子



小グループ協議の様子

道徳授業公開・協議会 基調発表より

学校外の過ごし方

学区域内

危険な場所

- 交通量が多い
千葉街道、柴又街道、篠崎街道、一里塚交差点
- バス通り
- 道がせまい、細い、信号がない横断歩道
- 川、土手

トラブルが予想される場所

- ゲームセンター
- 飲食店街

学区域外

家から遠い場所

- 行き帰りに時間がかかる
- 自転車で行くと交通事故の可能性が高まる
- 電車やバスなどで行くと運賃がかかる

知らない場所

- 危険な場所など、知らないことが多い
- ピロピロマークの場所など助けてくれる場所がわからない
- 何かあった場合に近所の人、地域の人など顔見知りの人が少ない

学区域でない場所

- 学校で伝えている交通事故や不審者に気を付ける場所がわからない
- 他校の児童とトラブルになる可能性がある
- 範囲に限りがない

SNSルール・ゲームについて

【主なSNS】

- ・Youtubeの長時間視聴⇒健康面などに悪影響される恐れ
- ・LINE⇒仲間外しなどいじめに繋がる恐れ
- ・TikTok⇒個人情報等が特定される恐れ

【ゲーム】

- ・フォートナイト

仲間外しなどいじめや金銭面のトラブル（課金）に繋がる恐れ

※SNSやゲームにはそれぞれ年齢制限、対象年齢あり。多くは中高生以上。

SNSやゲームの利用は子供に任せっきりにするとトラブルに繋がる恐れがあります。保護者が管理しながら利用していくか、管理が難しいようだったら使用させない選択肢もあります。また、子供が相談しやすい関係性を築いておくことも大切です。